

自然体験活動プログラム

○自然体験活動や自然環境と関わりの深い職場への訪問などを通して、自然を愛し護る心を育み、環境保全や動植物との共存についての理解を深める。

情報通信の発達やライフスタイルの変化などの社会の変化に伴い、子どもの自然体験や社会体験などの直接体験の減少が指摘される中、自然を愛し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を培うためには、子どもたちが自然や生き物とのかかわりを深める自然体験活動などの場を意図的に設定することが大切です。

本プログラムは、自然環境についての課題やその解決方法について話し合うワークショップ等を通して、身近な環境を大切に護ろうとする態度を養うとともに、郷土に対する認識を深め、郷土を愛し、その発展に努めようとする態度や知識を身に付けることをねらいとしています。

リーダー養成事業における自然環境に関する実践例（中・高校生）

1 概要

中・高校生を対象としたリーダー養成事業において、2つの自然体験活動をもとに、自分たちが地域でできることを考える活動を通して、環境保全や動植物との共存について理解を深められるようにしています。

2 プログラム例

	6:00	9:00	12:00	15:00	18:00	21:00
		地域で自然環境と深い関わりのある仕事をしている方を講師に、実践に基づいたお話をさせていただきます。			開会式 オリエンテーション 講演 自然を守るために私たちにできること 夕食・休憩	ワークショップ テーマ設定 ワークショップ フィールドワーク計画 入浴・就寝
	起床 朝食	フィールドワーク ○環境調査コース 調査活動等を通して、自然環境保護について考える。 ○産業振興コース 自然環境と関わりの深い職場を訪問し、自然への配慮について考える。 昼食	ワークショップ グループ間交流 フィールドワークでの体験活動に基づいて、それぞれの生徒が、自然環境保護についての考えを交流し、自分たちにできることを提言としてまとめます。 夕食・休憩	ワークショップ 情報発信、企画提案 入浴・就寝		
	起床 朝食	語る広場 交流活動 ふりかえり 閉会式	記録映像の鑑賞等を通して、3日間の成果を振り返ります。			